

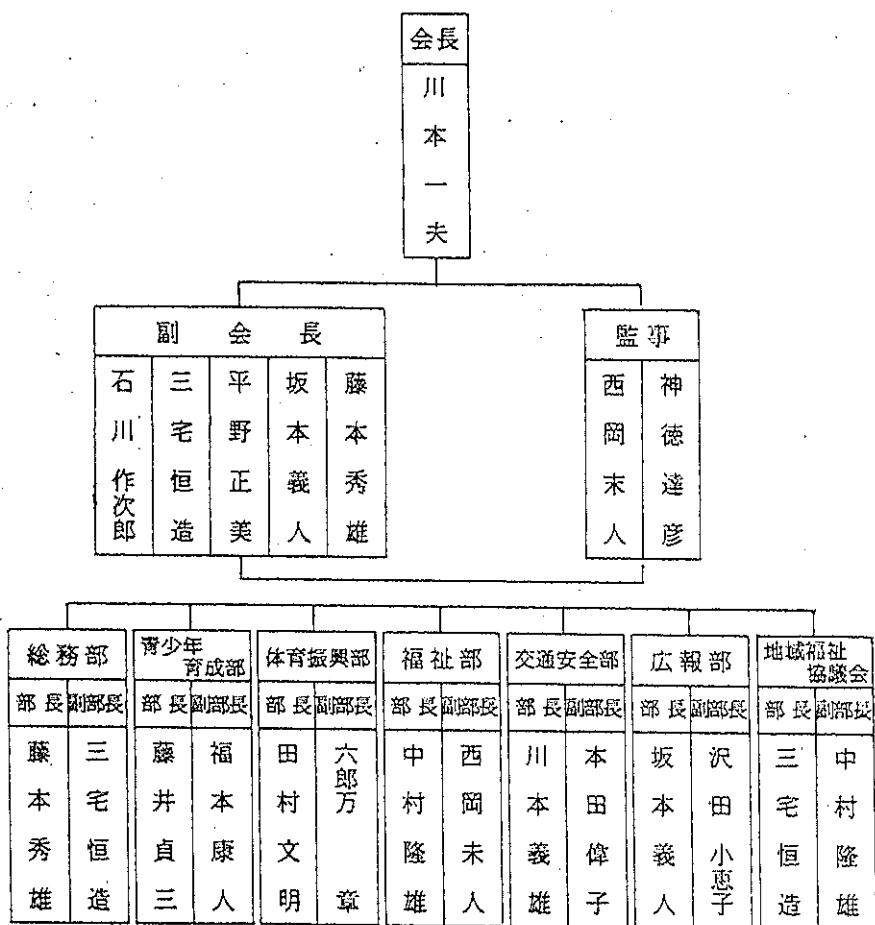
いまじゅく コミュニティ たより

発行 / 今宿地区コミュニティ推進協議会

事務局 / 今宿公民館 〒22-8877

発行責任者 / 広報部長 坂本義人 (第3号)

昭和61年度コミュニティ推進協議会
新役員が次のように決まりました。



ごあいさつ

今宿地区コミュニティ推進協議会

会員 川本一夫

昭和六十一年度今宿地区コミュニティ推進協議会役員改選において、不肖私が会長に選ばれ光榮に存するとともに、その責任の重大性を痛感致しております。と申しますのは、

今後今宿地区各種行事・地域づくりはコミュニティをおいては考えられず、如何にして住民総参加の体制づくりをするかが課題であります。

啓発・啓蒙・宣伝活動等各種団体の活動には天々伝統性があり、地域性・共同生活体の

多幸を祈念しあいさつと致します。

中で継続性の強い各種団体を、それぞれに横の連携を強めて、地域全般に掛け込むよう今宿祭り・親睦大運動会等諸行事の中で仕上げて参りたいと思います。

新しいものの中に、温故知新的古き伝統を守って今後考えてゆくために住民衆知の結果を図って行きたい。今後、企画委員会等の活動を大いに期待するものであらます。

終りに、地区住民のますますの御健勝と御

尚白園指導員 貞弘拾一

いじめの問題が大きな社会問題になってしまっています。いじめは、次のような形で現われてくるように思います。

〔1〕肉体的に人を傷つける——他人にけがをさせたり、ひどいときは殺したりする。

〔2〕精神的に人を傷つける——他人の心を傷つけ、悲しい不運な思いをさせる。

〔3〕物質的に人を傷つける——他人の物をこわしたり、金品を奪ったりする。

こうしてみると、いじめは子供の問題だと考えがちですが、むしろ大人のいじめの方が多いのではないかでしょうか。同和問題も大人の深刻な精神的いじめにはかならません。

いじめは、家庭・学校や社会のひずみが積

み重なって発現するものようです。従っていじめの対策が、一朝一夕にできないといわれるのも、そのへんにあると思われます。

ただいえることは、どのよつないじめでも共通していることは、いじめをする者には、「思いやうの心」(愛情)が欠陥していると

いうことだと思います。

今日、日本の社会では一般に、社会連帯感が希薄で利口中心的な考えが強いためわれますが、このことは、つづまところ思ひやりの心が不足していることだと感じます。大人がこの心を取り戻し、子供にこの心を育てることは、一朝一夕にできないことですが、みんなで努力すべしことと思います。

1万2千人の今宿まつり。

8月23日(土)に決定

★ 子ども球技大会 7月13日(日)

会場 德曹グラウンド

★ 盆踊大会

尚白公園 8月14日、8月15日

緑町公園 8月9日(土) 予定

★ 61年山口県老人ゲートボール大会

地区予選で『今宿あけぼのチーム』

(会長渡辺信一氏)が見事優勝されました。

今後の健闘をお祈りします。



第9回徳山市民陸上競技大会が、六月八日(日)、市陸上競技場で開催されましたが、総合で今宿地区が優勝いたしました。